

1. 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

求職者数の減少傾向が続き、若年層の減少幅が大きくなる一方で、65歳以上の高齢層の占める割合が非常に高くなっていることから、高齢者の応募可能な求人の確保を強化し、若年層やUIターンなどで正社員から正社員を希望されたり、様々な年代で非正規から正社員を希望される方々のために、求人条件緩和等により応募可能性の高まる正社員求人等の確保についても積極的に取り組みました。また、物価高騰によりダブルワークを希望する方や家計補助的な就労を希望する非正規雇用希望者も多く、求職者のニーズに合わせてパートや臨時の求人確保にも取り組みました。

新規求職者数は、新型コロナの5類移行により、前期比で上半期において微増となるも、下半期は減少傾向が続き、令和5年度は最終的に微減となりました。新規求人数は、前期比で減少傾向が続いており、厳しい状況が続いております。

パート希望の新規求職者数は、前期比で上半期において増加傾向にありましたが、下半期に失速し、令和5年度は最終的に微増となりました。パートの新規求人数は前期比で減少傾向が続いており、厳しい状況が続いております。

ハローワークの紹介による就職・求人充足の質と量を向上させる取組としては、地域に密着した法令違反のない求人受理を徹底している安心感に加え、求職者ニーズ（求職者目線）を意識した業務改善に上期の早い段階から取り組むことで、職業相談件数の増加を図り、求職者担当者制や求人担当者制などを活用していただきながら、幅広くマッチングを行い、必要に応じて求人条件緩和を図るなど、積極的に取り組みました。

雇用保険受給資格者の早期再就職にも積極的に取り組み、資格決定件数（高年齢一時金及び特例一時金を除く）が微増の状況で、前年度実績を大きく上回ることができました。

(2) 前年度の課題を受けて今年度サービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

令和4年度に、所独自の求職者向け支援メニューの内容を見直し、コンパクト化することで、求職者が携帯するのに便利なものとしましたが、職業相談件数の増加に結びつかなかったことから、令和5年度も更なる見直しを行い、A4サイズのチラシで「ハローワークでできること」がパッと見て分かるデザインとし、内容もより求職者ニーズ（求職者目線）を踏まえたものにリニューアルしました。それだけでなく、求人情報誌の表紙の見直し（2次元コードの活用）や所独自の求職者支援用の4つのリーフレット（面接編・履歴書編・ビジネスマナー基礎編／敬語編）の作成・活用、子育て世代へ配慮する取組、分かりやすい所内掲示、求人情報誌配架スタンド及び事業所情報のリニューアルなどの積極的な取組を上期の早い時期から実施していきました。その結果として、令和5年度は前期比で職業相談件数を改善することができました（特に上半期において大きく改善しました）。

そして、下期からは、所独自のキャッチフレーズ「挑戦を応援 可能性を応援 あなたに寄り添う ハローワーク加世田」を所内掲示や名札、名刺、業務月報など様々な活用することで、利用者へ寄り添う姿勢をより明確化し、地域の皆様に喜ばれるハローワークとなるよう全所的な取組を行いました。

また、鹿児島労働局における各ハローワークのホームページリニューアルにも積極的に取り組み、地域の利用者が使いやすいものとなりました。求職者向け支援メニューをコンパクトにし、携帯しやすくなる取組のコンセプトも大切にしていたことから、加世田所のページで「ハローワークでできること（求職者向け支援メニュー）」をパッと見てダウンロードできるアイコンを設けています。

(3) その他の業務運営についての分析等

鹿児島労働局の各ハローワークのホームページのリニューアルに際して、「ハローワークでできること（求職者向け支援メニュー）」や「ハローワーク利用ガイド（厚生労働省作成）」、求職者支援用の4つのリーフレット、職業訓練のチラシをダウンロードできるようにしました。また、求人情報誌をどこからダウンロードすれば良いのかが分かりにくい問題を解消するため、「求人情報」「シルバー求人情報」「県内のハローワークの求人情報誌を見る」の3つのボタンで加世田所のページからすぐにダウンロードできるようにしました。

なお、非常に便利な「ワンクリック検索」については、あえてシンプルに6つのボタン（フルタイム、パート、60歳以上、南さつま市、南九州市、枕崎市）に絞ることで、パッと管内の自治体ごとに仕事探しができることを優先しました。

また、職業訓練関係業務においては、所独自の公共職業訓練や求職者支援訓練の概要を周知するチラシをリニューアルするのに併せて、パッと見て分かる職業訓練のチラシ（2次元コードを活用）を作成・配布することで、より多くの方に職業訓練を活用していただけるようになっていきます。

これまで管内3自治体の要望を踏まえた共同研修を実施してきていますが、令和5年度は初めて職業訓練や職業安定法等に関する研修をオンラインで行っています（併せて所内研修も行うハイブリット研修として実施）。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

令和5年度に、当所が最も力を入れたのは、職員の専門性向上のための所独自の職業紹介ロールプレイ研修の実施です。併せて、厚生労働省本省や労働局が実施する専門性向上のための研修にも若手職員を積極的に送り出し、更にその成果を踏まえた所独自の職業紹介ロールプレイ研修を行うことで、所全体として専門性の向上を図りました。令和6年度は、職業紹介の実践的なロールプレイ研修に事例検討や模擬面接、応募書類添削などとも連動させた、よりレベルの高い研修となるよう取り組みます。

なお、新型コロナの5類移行により、職業訓練のコースが増加傾向にあることから、ホームページを見直し、職業訓練のチラシをサムネイル化するなど職業訓練情報の充実を図ることで、スキルアップが必要な方が、パッと訓練情報にたどり着けるようにしています。

また、雇用保険受給資格者の早期再就職のため、メリットを分かりやすく解説したチラシを作成・配布し、一定の成果が出ましたが、まだまだ改善の余地が残っていることから、雇用保険説明会時に実施している初回講習（ハローワークでできる求職者向け支援メニューの説明）の内容を大幅に見直すなど、更に強く、求職者ニーズを踏まえたハローワークの親身な姿勢を具体化していくことで、少しでも多くの方に対して、失業の長期化を防ぎ、より早くより良い就職ができるよう取り組んでおります。

そして、当所のホームページは、求職者向けのコンテンツが充実しているのに比べ、求人者向けのコンテンツが不足していることから、今後は求人者向けのパッと見て分かる支援メニュー等を作成・活用することで、新規求人数の増加に向けた取組を行っていきます。

2. 特記事項

管内3自治体（南さつま市、南九州市、枕崎市）や南薩地域振興局等の県の出先機関との連携推進については、定期的な連携会議等の開催や労働市場情報の提供を行っています。

また、誘致企業の各種雇用助成金等を活用した人材確保支援や雇用に係る支援制度の案内を行い、新規学校卒業者等の県内企業（地元企業）への就職やU I ターン就職の促進、各自治体の実施する企業合同説明会、誘致企業を対象とした求人事業所説明会や懇話会等の様々な取組に対して積極的に協力し、参加しました。雇用対策協定を締結している南九州市と合同で開催した高校生が対象の「南九州市企業合同説明会」では、193名の生徒と20社の企業に参加していただきました。

3. 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	就職氷河 期世代の 就職件数	生活保護 受給者等 の就職率						
令和5年度目標	1,586	1,463	391	90.0%	90.0%	83	64.9%						
令和5年度実績	1,362	1,183	369	69.0%	94.9%	112	67.0%						
目標達成率	86%	81%	94%			135%	103%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。